

6 国内における宿泊税の導入状況等

1 導入状況

	都道府県			市町村						
	東京都	大阪府	福岡県	京都市	金沢市	北海道倶知安町	福岡市	北九州市	長崎市	
施行日	H14. 10. 1	H29. 1. 1	R2. 4. 1	H30. 10. 1	H31. 4. 1	R1. 11. 1	R2. 4. 1	R2. 4. 1	R5. 4. 1	
課税対象の宿泊施設	旅館、ホテル	旅館、ホテル、簡易宿所、民泊（特区・新法）		旅館、ホテル、簡易宿所、民泊（新法）				旅館、ホテル、簡易宿所、民泊（特区・新法）	旅館、ホテル、簡易宿所、民泊（新法）	
課税額（1人1泊あたり宿泊料金）	・100円【1万～1.5万円未満】 ・200円【1.5万円以上】	・100円【7千～1.5万円未満】 ・200円【1.5万～2万円未満】 ・300円【2万円以上】	・200円 ※福岡市、北九州市内の宿泊施設については、県の課税額は50円（差額は市が課税）	・200円【2万円未満】 ・500円【2万～5万円未満】 ・1,000円【5万円以上】	・200円【2万円未満】 ・500円【2万円以上】	・宿泊料金の2%（1人・1部屋・1棟1泊あたり）	・150円【2万円未満】 ・450円【2万円以上】	・150円【1人1泊につき】	・100円【1万円未満】 ・200円【1万～2万円未満】 ・500円【2万円以上】	
免税点	1万円	7千円	なし	なし						
税収	R5年度（当初予算）	約16.7億円	約11.7億円	約13.9億円	約35.5億円	約7.1億円	約2億円	約18.6億円	約3.9億円	約3.7億円
	R3年度	2.5億円 ※R2. 7. 1～R3. 9. 30は五輪開催に伴い非課税	3.5億円	8.9億円	15.9億円	4.9億円	0.6億円	10.9億円	2.6億円	—
	R1年度	27.1億円	12.4億円	—	42.0億円	7.7億円	—	—	—	—
課税免除	なし			修学旅行生など	なし	修学旅行生など	なし		修学旅行生など	
主な使途	<ul style="list-style-type: none"> 【令和5年度予定】 ・観光情報センター運営 ・インバウンド強化（海外プロモーション、受入体制強化） ・バリアフリー化 ・新たな観光資源開発 ・MICE誘致 ・デジタル化推進 ・観光事業者の経営力向上・環境対策支援 	<ul style="list-style-type: none"> 【令和5年度予定】 ・トラベルセンター運営 ・夜観光（御堂筋イルミネーション） ・イベント開催（大阪文化芸術祭等） ・インバウンド強化等 	<ul style="list-style-type: none"> 【一般的な考え方】 ○県が主体的に行う施策 ・宿泊施設の多言語案内・情報発信、バリアフリー化等支援 ・インバウンド向け体験プログラム等旅行商品造成支援等 ○市町村に対する施策（交付金事業） ・市町村が実施する観光振興施策への財政支援（福岡・北九州市を除く） 	<ul style="list-style-type: none"> 【令和5年度予定】 ○受入れ環境整備 ・MICE、バリアフリー、夜観光等 ○観光の質・満足度の向上 ・市民生活との調整 ・経営強化、インバウンド対策、情報発信等 ○景観・文化財保全等 	<ul style="list-style-type: none"> 【令和5年度予定】 ○歴史・文化振興 ・まちなみ・景観、食文化、伝統文化・芸能保存 ○受入環境充実 ・インバウンド強化 ・宿泊施設おもてなし向上、人手不足対応 ・広域観光、中長期滞在、オフシーズン対策 ・文化・スポーツツーリズム、MICE誘致 ・夜観光、バリアフリー観光推進 ○市民生活との調和 ・無許可・無届出宿泊施設監視・指導強化 ・交通対策（公共交通、レンタサイクル等） ・まちなか歩行環境向上 ・災害時の安全確保 	<ul style="list-style-type: none"> 【令和5年度予定】 ○ニセコ・羊蹄山の環境保全 ・環境保全 ・パンフレット作製 ・なだれ対策 ○観光インフラの整備 ・観光DMO ・観光施設・案内板整備 ・受入れ体制整備（情報発信、研修会等） 	<ul style="list-style-type: none"> 【令和3年度事業】 ○宿泊施設の環境整備支援（バリアフリー、HP多言語化、災害対応強化等） ○地域資源を活用したコンテンツ造成、観光案内版設置等 ○公共施設のバリアフリー化 ○デジタルサイネージを活用した情報発信 ○MICE施設の整備等 	<ul style="list-style-type: none"> 【一般的な考え方】 ○都市PR ○地域資源磨き上げ ○セールスプロモーション ○受入体制整備（観光案内機能強化、宿泊施設等改修） ○MICE開催助成 ○インバウンド振興 	<ul style="list-style-type: none"> 【令和5年度予定】 ○朝型・夜型の体験コンテンツの充実 ○ICTなどを活用したワンストップの情報提供 ○観光案内所運営、無線LAN等の整備 ○観光施設のライトアップ整備、ユニークメニューの利活用支援 ○基金への積立 	

2 検討状況（報道発表事例から取りまとめ）

都道府県	北海道、宮城県、岐阜県、沖縄県
市町村	【北海道】札幌市、富良野市、小樽市、ニセコ町、占冠村、【青森県】弘前市、【宮城県】仙台市、【石川県】加賀市、【長野県】阿智村、【島根県】松江市、【熊本県】熊本市、【沖縄県】北谷町、本部町

導入済3都県の課税状況

		課税額（宿泊料金）	免税点 （1泊あたり宿泊料金）	令和元年度				令和3年度			
				税込 （億円）（a）	宿泊者数 （千人）	宿泊者全員が最低水準で課税された場合の金額（b）	b/a	税込 （億円） （c）	宿泊者数 （千人）	宿泊者全員が最低水準で課税された場合の金額（d）	d/c
実績 （導入自治体）	※1 東京都	100円（1～1.5万円） 200円（1.5万円～）	1万円	27.1	108,342	108,342千人 × 100円 = 108.3億円	0.25	2.5 （課税は10～12月の3か月間）	38,239	38,239千人 × 100円 = 38.2億円	0.07
	大阪府	100円（0.7～1.5万） 200円（1.5～2万） 300円（2万円～）	7千円	12.4	65,354	65,354千人 × 100円 = 65.4億円	0.19	3.5	17,859	17,859千人 × 100円 = 17.9億円	0.2
	※2 福岡県	200円 ※福岡市内のみ、 500円（2万円～）	なし	導入前	24,682			22.4	9,621	9,621千人 × 200円 = 19.2億円	1.17

※1 R2.7.1～R3.9.30は、東京五輪開催に伴い非課税。令和3年の課税期間は、10～12月の3か月

※2 福岡県、福岡市、北九州市の課税額の合算額を記載

千葉県における観光振興主要事業の概要（令和5年度）

検討項目（案）		課題	県事業の概要	予算額 （千円）	備考
提案項目 関連	人材確保	・構造的な人手不足に加え、コロナによる離職者が戻りきらず、人手不足は深刻な状況	○宿泊業人材セミナー【9月補正予算】 ・事業者、求職者を対象としたセミナー及び両者のマッチング	7,600	○
	地域・施設 等の魅力向上	・国内の人口減少の進展により、潜在的な旅行者が減少し、地域間競争の激化が見込まれ、持続可能な、選ばれる観光地・施設づくりが必要	○観光案内板、トイレ等の整備 ・観光案内板、トイレ、駐車場、案内所、県境看板等の整備補助	158,770	
			○各種広報（観光地域力発信・向上、ラジオPR等） ・広報用HP、ラジオPR、ノベルティ等の広報媒体の作成・広報	19,650	
			○観光コンテンツ高付加価値化促進 ・県内への観光客の長期滞在・宿泊を促し、観光消費額を増加させるため、市町村等が広域（複数の市町村）で実施する取組を支援	100,300	
	インバウンド対策	・千葉県観光地の認知度向上と、増加する個人旅行客の取り込み拡大に向けた情報発信が必要 ・成田空港を擁する本県の利点を活かした県内周遊の促進が必要 ・付加価値の高いコンテンツの創出による旅行消費額の向上が必要	○クチコミサイトにおける情報発信【9月補正予算】 ○外国語SNSを活用した観光情報発信強化 ○外国人観光客向けプロモーション（国際観光展への出展、商談会等） ○訪日教育旅行誘致（プロモーション、関係者招聘等） ○訪日団体旅行客向けバスツアー支援	173,418	○
	新たな旅スタイルの普及	・感染症を契機に注目されるようになった、ワーケーション等の新たなスタイルの旅の普及・拡大が見込まれ、企業単位での取り込みを進めていく必要	○ワーケーション受入促進 ・地域として受け入れる際の、設備整備等支援、広報活動等	77,700	
	デジタル技術の効果的な活用	・ビッグデータの活用等による人流・消費動向の把握などを通し、集客・誘客の効率化等に取り組むことが必要	○デジタルマーケティング事業【9月補正予算】 ・アクアラインの人流調査：社会実験による人流の変化を調査 ・県内観光客の消費動向調査：移動経路、消費動向等を、消費額・観光客の属性等も含めて調査	46,000	○
小計			583,438		
国内プロモーション	・多様化する旅行ニーズに対応したきめ細かな情報発信が必要 ・県内周遊の促進や滞在時間の延長による旅行消費額の向上が必要 ・閑散期の誘客による旅行需要の平準化が必要 ・千葉の自然や文化などを生かした体験観光の促進が必要	○観光プロモーション事業 ○北関東・南東北・中京地域からの観光誘客プロモーション事業 ○観光情報発信ウェブサイトの管理・運営事業 ○鉄道を活用した周遊観光プロモーション事業 ○GOGO房総デジタルポイントラリーキャンペーン事業 ○千葉県誕生151周年記念観光振興事業 ○千葉県フィルムコミッション運営事業	409,195		
計			992,633		